

巨大開発の浪費くいとめ 暮らしを守る財源確保を

千葉県の財政力は全国5位の豊かさです。しかし、福祉や教育は軒並み全国最下位クラス。バブル期から続く巨大開発に税金が投入されているからです。

千葉県の全国順位

- 財政力……………5位
- 民生費……………47位
- 老人福祉費 ……47位
- 児童福祉費 ……46位
- 教育費……………45位

それなのに

(統計でみる都道府県の姿)
2010総務省

「かずさ」の破たんて60億円損失 千葉県



(株)「かずさアカデミアパーク」が経営破たんし、県は出資金など約60億円を失いました。30年かけて1000畝の巨大研究都市を建設する計画。その1期分278畝の造成などに1500億円を投入。企業用地150畝のうち進出したのはわずか50畝で、残りは雑草が生い茂るままです。

巨大開発が野放し

暮らしや地域経済が後回しにされる一方で、大型開発が野放しにされ、大企業にはいたれりつくせりです。こうした不要不急の大型公共事業を見直し浪費を抑えます。



- ハツ場ダム……………県負担760億円
- つくばエクスプレス沿線開発……………県施工の3地区の事業費2000億円
- 圏央道……………1300億円
- 東京外環道……………1870億円
- 北千葉道路……………314億円

大企業には応分の負担で110億円

東京や神奈川など、工業県といわれる8都府県で実施している大企業への法人事業税超過課税の実施等で、新たな歳入(2011年度では約110億円)を確保します。あわせて、国保や介護など、社会保障に対する財政的責任を果たすよう国に求めています。



ハツ場ダム視察